

那須烏山市庁舎整備基本構想（原案）に関するパブリックコメントの実施結果

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-1	【全体意見】	<p>「新庁舎の候補地は JR 烏山駅周辺とする」とのことで広報紙に烏山線利用向上と結びつける記事もありましたが、今現在電車を使った来庁者は南那須、烏山庁舎それぞれ年間どのくらいの人数でしょうか？ 普段電車通勤の職員は何人でしょうか？ 当然新庁舎整備を進めるにあたり集計していることと思いますので是非お示しください。それと烏山駅周辺に新庁舎が出来た場合の交通手段を市民アンケート等で調査した方が良いと思います。駅前だからといって電車で行くとは限りません、言うまでもなく多くの方が駅までが遠く車で直接行った方が早いです。沿線駅付近の居住者も限られますし、南那須地区には利便性を考え支所を作って下さるのですから、わざわざ電車に乗って烏山駅前の庁舎には行かないでしょう。また烏山地区の多くの方も電車で行く選択肢はないかと思います。逆に駅前に庁舎ができると市街地の交通混雑が誘発され車で行くのでさえ足が遠のき烏山線の利用頻度も低下するのではないのでしょうか。いずれにせよ建ててからでは遅いので調査をするべきです。市民のための事業をなんとしても成功させていただきたいので、拙速に進めるのではなく、市民の声を聞きながら、着実に進めていただきたいと思います。</p>	<p>交通手段別の来庁者数や JR 烏山線を通勤利用している職員について、詳細は把握しておりません。新庁舎を JR 烏山駅周辺に整備することで、JR 烏山線を通勤利用する職員の増加や、宇都宮方面への出張の際にも利用しやすくなるなど、JR 烏山線の利用向上につながるものと考えています。</p> <p>また、自分で車を運転できない方であっても、自ら公共交通機関を利用して来庁することができ、交通手段の選択肢が増えると考えます。</p> <p>交通混雑対策については、今後策定する庁舎整備基本計画や JR 烏山駅周辺における都市計画事業の検討の中で議論していくこととなります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-2	【全体意見】	<p>『那須烏山市運転免許証自主返納者支援事業』の周知不足です。市の広報誌等に「市庁舎を JR 烏山駅前に整備すれば自分で車を運転できない高齢者であっても烏山線で来庁できる」旨のコメントが掲載されていました。市の機関紙に大々的に掲載＝市の見解ということによろしいですか？高齢者にとって電車移動は身体的負担が大きいです、高齢者は思わぬ場所で転倒し大けがする心配があります。市は高齢者に「烏山駅前に新庁舎つくるから電車で来い」と言っているようなものです。自宅から駅までの移動でさえ大変なのに更に電車移動を強いるのは酷です。夏場や冬場、悪天候時は更に大変です。ましてや烏山線は本数も少なく大雨時は運休になってしまいます。やはり市民の為の市庁舎を目指すのであれば、電車で来いではなく高齢者や障害のある方も誰もが安心して自宅から負担なく行けるよう交通空白地域の補完、デマンド交通の拡充やさらなる免許返納者支援といった交通弱者を救ってあげる施策が社会福祉の視点からも大切ではないでしょうか。新庁舎の建物がバリアフリーになっただけではダメです。各団体の代表が集まる庁舎整備検討委員会では社会福祉の観点からの議論はされなかったのでしょうか？</p>	<p>JR 烏山駅周辺に新庁舎を整備することで、自分で車を運転できない方であっても、自ら公共交通機関を利用して来庁することができ、交通手段の選択肢が増えると考えます。</p> <p>全ての市民が安心して来庁いただけるよう、デマンド交通の拡充や運転免許証自主返納者支援事業の充実、周知を図るなど、更なる取組みの強化策について検討して参ります。</p>
1-3	【全体意見】	<p>候補地が JR 烏山駅前一か所に絞られたのは分かったのですが、建物は2階なのか3階なのか不明です。土地利用計画の図面もなく建物の高さが分からないと判断材料として不足です。時間とお金をかけて烏山市街地に正当性を持たせるプロセスを見せ候補地を一か所に絞ったのは理解できましたが駅前環境の特性上、日陰規制はどうなっているのか、日照権問題、交通混雑検証データを示すのも大変重要かと思えます。周辺住民の生活にどのような影響があるか行政として当然検証するべきでしょう。してないのでしょうか？だとしたら多額の費用と時間をかけた割には乏しい情報だと思います。もしくはもっと詳しい第二弾の資料を提示し再度パブリックコメントもしくは市民アンケートをとるご予定があるのでしょうか？これだけの情報でいくら賛同意見が集まったとしても市民代表である議員は判断しかねると思います。</p>	<p>一般的に、庁舎整備に当たっては、基本構想、基本計画、基本設計・実施設計、建設工事施工といったステップを踏むこととなります。基本構想は、おおよその庁舎の規模や候補地を定めるもので、基本計画において、建物の配置計画や庁舎の機能・フロア構成といった設計に必要な諸条件を定めることとなります。本編 14 ページの「(5) 敷地面積の想定」において、庁舎を2階建て、3階建てとした場合の試算をしていますが、これはあくまで敷地面積を想定するために試算したもので、基本構想において新庁舎の階数を定めようという趣旨ではございません。新庁舎の階数等の構造については、基本計画において検討して参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-4	【全体意見】	<p>新庁舎よりもまずは、防災行政無線市内全域設置ではないでしょうか。令和4年の防災無線に関するアンケート調査結果でご存じの通り多くの市民が望んでいます。市は設置に対して消極的な印象でしたが市民は防災行政無線を必要としています。このご時世いつどんな有事が起こるか分かりません。今時あって当たり前前の防災行政無線すらない街に移住したいと思いませんか？庁舎が駅前に来たところで人口増えますかね？庁舎整備を優先したために防災無線も無く、防災集団移転も進まず再度災害にでも遭ったら市の黒歴史になる可能性も否定できません周辺市町からもおかしい目で見られるかもしれません。防災行政無線で大切な市民が救われるのであれば費用がかかっても設置する価値は大いにあります。新庁舎建設より防災行政無線市内全域設置が急務ではないでしょうか？旧烏山町には今まで無かったからと躊躇せず是非「前例踏襲型の市政運営から脱却し、一步踏み出す未来志向型の市政運営への転換」を実践していただきたく存じます。実際市民は何を最優先で望んでいるかアンケート調査してみたいかでしょうか？一步踏み出しアンケート調査を有言実行でよろしく願いいたします。</p>	<p>市庁舎は、災害時には災害対策本部が設置され、災害情報の収集・発信、対策の指揮や実行、救護等の災害応急活動等を行う防災拠点として、市民の生命・財産を守るための応急対策業務を着実に行う必要があります。しかし、耐震不足の現庁舎では、再び大きな地震があった際に、倒壊又は崩落する危険が高く、防災拠点としての重要な機能を果たすことができないおそれがあります。そのため、防災拠点となる新庁舎整備については、早急な整備が必要です。また、市民に対するアンケート調査については、広く市民の声を聴く有効な手法の1つではありますが、そのやり方次第では、誤った方向に誘導することにも繋がりがねないため、慎重な対応が必要と考えます。</p>
1-5	【全体意見】	<p>候補地選定評価項目に総合計画との整合とあります。第3次総合計画で市の将来像を「市民が主役のまち 那須烏山市」と設定しています。是非、透明度の高い情報発信をお願いします。行政のモラルが問われる情報操作での世論形成では一部の人の利害関係に固執した排他的な市政に傾いてしまいます。那須烏山市は大丈夫かと思いますが、新庁舎整備において取り上げて公表している市民の意見、偏っていませんか？多角的な視点で市民同士が議論を交わし意見が行政に反映され達成感を味わって生まれる信頼関係があってこそ本物の「市民が主役」「市民参画」「市民共同」ではないでしょうか。是非、今後とも一人一人の意見を公平に公表していただきたく存じます。又、二代表制・直接選挙で選ばれた市民代表の議員が有志で行った市民アンケートの意見は大変重みがあります、それをしっかり汲み取りカタチに繋げることが大切な一歩です。「新たな未来への第一歩 市民が主役のまち 那須烏山市」</p>	<p>庁舎整備に関する検討状況については、逐次、市ホームページで公開するほか、令和4年9月に創刊した「庁舎整備ニュースレター」をこれまでに全8回刊行するなど、情報発信に努めて参りました。今後も積極的な情報発信を行って参ります。</p> <p>本基本構想（原案）に記載している検討委員会委員や市民の意見については、スペースの都合上、主な意見を抜粋して記載していますが、元となったご意見については、市ホームページにおいて公開しておりますので、そちらもご覧ください。</p> <p>また、市民に対するアンケート調査については、広く市民の声を聴く有効な手法の1つではありますが、そのやり方次第では、誤った方向に誘導することにも繋がりがねないため、慎重な対応が必要と考えます。</p> <p>なお、市議会議員の有志で行ったアンケート調査については、議員活動の一環として実施したものでありますので、市執行部として回答する立場にはございません。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-6	<p>【本編 11 ページ】 3 今後の庁舎方式のあり方 【市の方針】</p>	<p>最下段に※烏山市街地ではなく烏山地区としたのは、一部の市議会議員から、神長地区も候補地の1つとして検討すべきとの意見を踏まえたため。とありますが、この記載の仕方では意図的ではないにせよ、まるで一部の市議会議員だけが神長地区と言っているように勘違いされてしまいます。令和元年に市内12か所で開催された執行部による住民説明会において、参加した市民から神長地区を検討して欲しい旨の意見が多く寄せられたはずです。(令和4年7月総合政策課庁舎整備推進室 庁舎整備基本構想(素案)見直し方針p1にも記載)市民の声を踏まえと言いながら、この時の市民の意見は無かった事にされておりとても悲しい気持ちです。仮にゼロベースで見直しであれば議会上程前に今一度12か所で住民説明会をしていただきたいです。市長と話そうタウンミーティング?2か所の公民館「ここでやるからおいで」ではなく前回のように新庁舎整備住民説明会と銘打って各地区に出向いて、近くに行ってあげて多くの市民に寄り添った丁寧な対話をお願いしたいです。市民アンケート調査を自費で2000件実施した議員有志の会の議員さんの方がとても市民に寄り添っていると言えるのではないのでしょうか?何十億円もの税金が使われます、丁寧な対話なく進めると職員が何十年先まで市民や周辺市町から後ろ指をさされるかもしれません、上からの指示とは言え大変気の毒です。是非とも12か所の説明会を開いてください!よろしく願い致します!</p>	<p>新庁舎の整備場所については、本市の最上位計画である第3次総合計画において、烏山市街地に整備する旨が記され、令和5年3月に、全会一致で市議会による議決を賜っております。従いまして、新庁舎については、烏山市街地での整備を前提とした議論が行われることが原則となります。しかし、第3次総合計画の議決の際に、神長地区も候補地として検討されたいとの要望があったことを踏まえ、例外的に、神長地区を含む「烏山地区」を候補地の抽出エリアとしたものです。</p> <p>また、庁舎整備に関する検討状況については、逐次、市ホームページで公開するほか、令和4年9月に創刊した「庁舎整備ニュースレター」をこれまでに全8回刊行するなど、情報発信に努めて参りました。こうした経緯を踏まえ、タウンミーティングの開催日程を設定させていただきました。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-7	<p>【本編 16 ページ】 (2) 候補地の抽出 【候補地位置図】</p>	<p>候補地選定 1 次評価で使用の「候補地位置図」について。候補地⑧消防署周辺と示していながら肝心の消防署建物図が見当たりません、消防署建設前の少なくとも 10 年前の地図と推測出来ます。現地調査を含まない客観的評価で精査し候補地絞り込みに使用する大事な資料が正確さに欠けた古い地図データ。又、「10 年先、20 年先の将来を見据えて庁舎整備を考える」（広報からすやま 2023 年 12 月号表紙）と謳っていながら 10 年前、20 年前の過去に逆戻りの古い地図を使うセンス。役所の仕事としてお粗末な印象を与えかねないので、念の為質問させていただきます。</p> <p>Q 1：この地図は何年前の地図ですか？ Q 2：この地図が市役所にある最も新しい地図ですか？ Q 3：仮に古い地図だとしたら普段から那須烏山市役所は古い地図を使用して作業しているのですか？ Q 4：それと関連するので合わせての質問です、HP 公開用資料 3「新庁舎の候補地について」p 18 で省略されてみる事が出来ない【区域図】の原本には消防署建物図は示されていますか？ご回答の程よろしくお願い致します。</p>	<p>候補地位置図については、国土地理院作成の基盤地図情報（2020 年 1 月 1 日更新時点版）を使用しています。この基盤地図情報には、那須烏山消防署の建物の外郭線等が記載されていませんが、2024 年 7 月 1 日更新時点版においても、記載がありません。これは、国土地理院における更新作業が、全国一律ではなく、一定の地域ごとに更新がなされていることが一因とのことです。</p> <p>なお、この候補地位置図は、あくまで各候補地のおおまかな位置関係を表すために作成した図面で、各候補地の具体的な区域を示すものではありません。候補地に私有地を含むため、個人情報保護の観点から非公表とさせていただきますが、検討委員会での検討に当たっては、令和 5 年撮影の航空写真を使用した詳細な区域図を用いて検討を行っております。当然、「那須烏山消防署周辺」の区域図においては、那須烏山消防署が示されています。</p>
1-8	<p>【本編 16 ページ】 (2) 候補地の抽出 【本編 17 ページ】 (3) 候補地の評価 ① 1 次評価</p>	<p>【候補地の抽出】烏山消防署周辺とありますが、周辺とはどの辺りのことを言っているのでしょうか？消防署を起点に半径何メートル辺りですか？とても分かりにくい資料です、分かりやすくご説明お願いいたします。又、候補地消防署周辺が浸水想定区域で防災拠点の安全性が×で候補地から除外していますが、ハザードマップを見たところ浸水エリアでない土地が消防署からさほど離れていない場所にあります。何故わざわざ浸水エリアを示したのでしょうか？新庁舎を既定路線の烏山市街地に誘導する為でしょうか？ご説明お願いいたします。</p>	<p>候補地に私有地を含むため、個人情報保護の観点から、具体的な区域をお示しすることはできません。</p> <p>那須烏山消防署周辺については、「那須烏山消防署周辺は、龍門の滝があるから水があふれることはない。かさ上げをすれば良い。」とのご意見があったことを踏まえ、一団の広大な土地の確保が可能と考えられる那須烏山消防署周辺を候補地の 1 つとして抽出したものです。</p> <p>なお、ハザードエリアに該当しない神長地区の候補地として、「市営神長住宅周辺」も抽出していますが、「新庁舎を既定路線の烏山市街地に誘導する為」とのご指摘がありましたが、市議会の議決（令和 5 年 3 月）を賜った第 3 次総合計画では、新庁舎の整備場所を烏山市街地と示しています。従いまして、ご指摘の「誘導」に当たるものではありません。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-9	<p>【本編 16 ページ】 候補地位置図</p> <p>【資料編 25P】 ③那須烏山消防署 周辺</p>	<p>1 6 ページ【候補地位置図】で那須烏山消防署周辺がありますが図の赤丸で囲った場所はほとんど消防署の敷地です。消防署そのものを狙って示していますが、これでは周辺とは言えません。資料編 2 5 ページに消防署周辺の面積約 18,000 m²（私有地）とありますが那須烏山消防署の敷地面積は 15,555 m²（南那須地区広域行政事務組合消防本部令和 4 年度版消防年表を参考）です。私有地とのことですから消防署敷地を除いた 2,445 m²では庁舎必要面積は確保できません私有地だけでは不足です。辻褄が合いません。「一団の土地として確保が可能な候補地」として抽出したのですから消防署敷地も含み消防署を移転させて新庁舎を建設する想定で消防署敷地を示したという理解でよろしいでしょうか？非現実的ですが。それと、「敷地の全域が洪水浸水想定区域、3 m以上の浸水が想定されている」として候補地から除外していますが、敷地の全域とどこを指しているのでしょうか？那須烏山市ハザードマップで照合すると赤丸内の市が示した候補地である消防署敷地は3メートル未満なので誤情報となります。又、資料で示した赤丸を僅か 200 メートル北東に移動するだけで 0.5 メートル未満やハザードエリア外の土地があります。盛土、止水壁、電源設備を 2 階に設置等の浸水対策を講じれば浸水リスクは軽減されます。神長地区を再調査した方が良いのではないのでしょうか？この不可解な資料で選定した結果では議員も賛成できないと思います。</p>	<p>候補地位置図は、あくまで各候補地のおおまかな位置関係を表すために作成した図面で、各候補地の具体的な区域を示すものではありません。那須烏山消防署周辺の敷地面積を約 18,000 m²としていますが、その全てが私有地であり、那須烏山消防署の敷地は含んでおりません。具体的な区域については、私有地であり、個人情報保護の観点からお示しすることはできません。新庁舎の整備については、市議会の議決（令和 5 年 3 月）を賜った第 3 次総合計画における将来都市構造を踏まえ、検討を進めています。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-10	<p>【本編 22 ページ】 7 基本計画の策定に向けて (1) 今後の進め方及び事業スケジュール</p>	<p>「コンパクトシティー・プラス・ネットワーク」とのことですが分かりにくいのでお尋ねします。新庁舎建設以前に JR 烏山駅の徒歩圏内に現烏山庁舎があるわけですから現状と何ら変わらないようにも思います、烏山駅前に建設することによって何がかわるのでしょうか？コンパクトシティーは都市機能だけでなく居住者（人口集積）があって成立するものだと思うのですが、では既にある程度公共施設等が集積されている烏山市街地の人口は過去 10 年と比較して増えていますか？減っていますか？烏山駅前に新庁舎を建設したところで確実に烏山市街地の居住者は増える見込みでしょうか？今後、どのように居住者誘導していくのでしょうか？（定住促進拠点を南那須地区としています）今でも十分賑わっている方だと思いますが烏山駅前に新庁舎建設すれば賑わいを創出し駅周辺が活性化するかのようです、根拠はありますか？何かしらデータとなるアンケートはとったのでしょうか？公共交通空白地域へのネットワーク構築はどのような計画があるのでしょうか？何年かかりますかね？質問が多く大変申し訳ございませんが市民の皆さんに不安とツケを残さない為にも、ご教示いただけますと幸いです。回答が「適宜軌道修正を図りながら、目指す姿の実現に向けて取り組みを進めていきます」「検討する」「参考意見にする」では、希望的観測となりますがいかがでしょうか。</p>	<p>人口減少が進む中、本市においては、市民の方々に末永く住み続けていただき、人口の流出を抑制することを第一に考え、市民の満足度、幸福度を高め、シビックプライドを醸成する定住策の充実を優先した取組を推進しています。市民との意見交換を行ってきた中で若年層を含む多くの市民からは、多世代が交流・活躍することができる公共施設の整備をはじめ、JR 烏山駅・大金駅を核とした市街地の再生を求める意見が数多く寄せられました。JR 烏山駅周辺に庁舎が整備できれば、JR 烏山線の存続に向けた大きなメッセージになるほか、都市基盤の再生による中心市街地の活性化に大きく寄与するものと考えています。現在、市街地再生に向けた検討に着手するため、庁舎整備の検討と併せ、都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画の策定を進めるほか、都市計画の見直し検討を行っています。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映																												
1-11	<p>【本編 30 ページ】</p> <p>(4) 市民参画の状況</p> <p>② 市民・市民団体等との意見交換</p>	<p>市民アンケート調査を実施しないだけあって幾度かの意見交換会で市民との対話。素晴らしい取り組みで感心します。市民の関心が非常に高いであろう新庁舎整備、さぞかし数多く参加者から沢山の意見があったと推察できます。せっかくなのに資料として情報が乏しいです、驚くほど沢山の市民が参加した意見交換会の事業別参加人数と新庁舎整備について出た意見の数、開催地区（南那須 or 烏山）を是非ともお示してください。新庁舎整備は市民との合意形成に努めながら丁寧に進めるべき大事業ですから重要な開示すべきデータです。参加できなかった市民の為にもお示しいただければ大変参考になります宜しくお願いたします。因みに「なすからタウンミーティング」は2日間で85名の市民が参加されたと公表されていますが85名の中には市役所職員も含まれているのでしょうか？含まれている場合、内訳も一緒にお願いたします。</p> <p>（以前タウンミーティングの座席に多くの職員の姿があったので念の為）重要な新庁舎整備ですので当然、これまでに相当数の声を聞いてきたと思います。アンケートであれば回収率等を数値で示すのと同じように重要なデータとなりますので是非、市民のみなさんにお知らせくださいませ。</p>	<p>各事業の参加人数、開催地区については以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="1406 236 2188 536"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>開催地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員出前講座</td> <td>R5.7.26</td> <td>39人</td> <td>烏山地区</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">移動市長室</td> <td>R5.5.12</td> <td>15人</td> <td>烏山地区</td> </tr> <tr> <td>R6.4.7</td> <td>22人</td> <td>烏山地区</td> </tr> <tr> <td>R6.5.16</td> <td>26人</td> <td>烏山地区</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">なすからタウンミーティング</td> <td>R5.9.24</td> <td>31人</td> <td>南那須地区</td> </tr> <tr> <td>R5.9.30</td> <td>54人</td> <td>烏山地区</td> </tr> </tbody> </table> <p>那須烏山市のまちづくりを考える集い、NASUKARA 市民ミーティング、那須烏山市の地域振興を考える意見交換会については、市主催の事業ではないため、参加人数は把握していません。職員出前講座、なすからタウンミーティング、NASUKARA 市民ミーティング、那須烏山市の地域振興を考える意見交換会における主なご意見については、市ホームページ上で公開しておりますので、そちらをご確認くださいませようお願いします。</p> <p>なお、上記なすからタウンミーティングの参加人数は、市職員の参加者を含まない人数となります。</p>				事業名	実施日	参加人数	開催地区	職員出前講座	R5.7.26	39人	烏山地区	移動市長室	R5.5.12	15人	烏山地区	R6.4.7	22人	烏山地区	R6.5.16	26人	烏山地区	なすからタウンミーティング	R5.9.24	31人	南那須地区	R5.9.30	54人	烏山地区
事業名	実施日	参加人数	開催地区																												
職員出前講座	R5.7.26	39人	烏山地区																												
移動市長室	R5.5.12	15人	烏山地区																												
	R6.4.7	22人	烏山地区																												
	R6.5.16	26人	烏山地区																												
なすからタウンミーティング	R5.9.24	31人	南那須地区																												
	R5.9.30	54人	烏山地区																												

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-12	<p>【資料編 5 ページ】 5 地震以外の災害リスク</p>	<p>資料【近年の自治体庁舎の浸水被害】の情報で浸水想定区域内にあった県外 2 箇所の庁舎が浸水被害により全電源が途絶え大きな被害を受けたことを紹介し「川のそばに庁舎を建てるのは危険」との印象を植え付けていますが、そもそも電源設備が一階や地下にあったことが原因で水が入り込み電源喪失したのではないのでしょうか？その後、両自治体では水害に対するさまざまな取り組み、防災拠点機能の強化、庁舎安全対策をされているようです。又、近隣の塩谷町新庁舎も荒川の防災対策・洪水対策を考え盛土や電気室、自家発電機を 2 階に配置するなど浸水対策をしているようです、間違っていたらご指摘ください。それと庁舎整備検討委員会での一番に神長地区が浸水想定区域との理由で候補地から外されたわけですが、浸水対策の観点からの議論も十分なされたと考えてよろしいのでしょうか？議事録を見ることはできますでしょうか？議論不十分の場合は、神長地区を再調査し駅前と神長地区の 2 か所の候補地を再選定した方が良いです。防災拠点を謳った新庁舎整備なわけですから神長地区であれば消防署が近く連携をとりやすく、車でのアクセスも良く、十分な駐車スペースも確保でき有事の際に敷地を関係機関へ提供し活動拠点にもなり、救援物資等の運搬でヘリコプターの離発着場としての活用も出来るからです。新庁舎建設予定の高根沢町、矢板市も候補地選定で十分な広さの敷地面積であることを重要視して進めています。</p>	<p>市庁舎は、災害時においては災害対策本部が設置され、災害情報の収集・発信、対策の指揮や実行、救護等の災害応急活動等を行う防災拠点として、市民の生命・財産を守るための応急対策業務を着実に行う必要があります。茨城県常総市庁舎の事例では、全電源が途絶えただけでなく、庁舎が浸水したことで、庁舎内にいた避難住民、市職員、自衛隊員などが孤立してしまい、防災拠点としての機能を果たすことができない事態となりました。常総市庁舎及び茨城県日立市庁舎の事例とも、「ここまでの大きな被害は想定外」としており、近年、災害が多発化・激甚化していることを踏まえ、「想定外」の大きな災害が起こり得るとの教訓として、震災だけでなく、洪水・土砂災害等の際にも、防災拠点機能を確実に維持できるよう最大限配慮する必要性があることをお示したものです。</p> <p>庁舎整備検討委員会においては、浸水対策ではなく、そもそもハザードマップの洪水浸水想定区域に該当して浸水リスクが高いエリアは避けるべきとの議論がなされました。候補地に民有地を含み、個人情報保護の観点から、会議を非公開で開催したため、会議録については、要点をまとめた「結果概要」の形として市ホームページ上で公開しておりますが、会議録をご覧になりたい場合には、個別に情報公開請求の手続きを行っていただくこととなります。</p> <p>本編 14 ページ「(5) 敷地面積の想定」において、仮に庁舎を 2 階建てとした場合、3 階建てとした場合の必要敷地面積を算出していますが、いずれの場合でも、「JR 烏山駅周辺」において、必要敷地面積を充足できる見込みです。</p> <p>新庁舎の整備場所については、本市の最上位計画である第 3 次総合計画において、烏山市街地に整備する旨が記され、令和 5 年 3 月に、全会一致で市議会による議決を賜っております。従いまして、新庁舎については、烏山市街地での整備を前提とした議論が行われることが原則となります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-13	<p>【資料編 17 ページ】 17 県内市町における職員駐車場の状況</p> <p>【資料編 3 ページ】 3 県内他市町の庁舎の耐震化（新庁舎整備）の状況</p>	<p>17 ページ県内市町における職員駐車場の状況について。塩谷町の職員駐車場の敷地内・外の駐車台数ですが、これは旧庁舎のデータで今の新庁舎の台数ではございません。塩谷町新庁舎は広大な敷地に建設され職員駐車場も敷地内に確保されています。資料の日付が令和5年8月1日現在となっておりますが、僅か3カ月後の令和5年11月6日に塩谷町新庁舎は開庁しています。調べればすぐ分かることですが、何故に旧庁舎の情報を提示するのでしょうか？これから新しく庁舎を建てようとしているのですから、なるべく最新情報と比較した方が良くと思うのですが。資料3ページの耐震化の状況の資料は他市町で新庁舎建設予定（基本構想策定中）と最新どころか先々の情報までもしっかりと記載していながら職員駐車場は最新の情報を示さないのが不思議でなりません。何故、そうしたのかご回答のほど宜しく願いいたします。又、高根沢町も十分な駐車スペースを確保できる場所が候補地となっており、傾向として新庁舎は防災拠点の観点と合わせて職員駐車場も十分確保できる場所を候補地として選定されています。</p>	<p>資料編 17 ページ「17 県内市町における職員駐車場の状況」の内容については、R5.8.1 時点における状況を調査し、R5.9.28 開催の第4回庁舎整備検討委員会において会議資料としてお示しした内容を記載したものです。ご意見のとおり、新庁舎開庁後の塩谷町の職員駐車場の状況は、「敷地内のみ、280 台（来庁者用等含む）」となっておりますので、このように修正いたします。</p>
1-14	<p>【資料編 17 ページ】 17 県内市町における職員駐車場の状況</p>	<p>「県内市町における職員駐車場の状況」ですが情報不足です。敷地外だとしても近いか遠いかで全く変わりますので庁舎から駐車場までの距離も参考になるように記載した方が良いでしょう。記載がないということは調べてない？不必要ですか？利便性を求めるならほぼ毎日庁舎に通う職員の負担も考えてより近い場所を確保してあげる思いやりも必要かと思いますが。市民はめったに庁舎に行きません。この資料は他の市町がこうだから那須烏山新庁舎が敷地面積の限られる駅前が候補地になっても良いとの正当性を持たせるためでしょうか、職員のことは考えてないと捉えられてしまいます。そこで質問です、駐車場に関して職員へアンケート調査は行ったのでしょうか？ご回答のほど宜しく願いいたします。又、烏山駅前に建設となった場合、一番遠い職員駐車場までのどのくらいの距離になりますか？</p>	<p>県内市町の職員駐車場の状況の調査に当たって、具体的な職員駐車場の位置についても回答を得ておりますが、セキュリティ等の観点から非公開を希望する市町もあるため、回答は差し控えさせていただきます。</p> <p>庁舎に通勤する職員の駐車場については、職員の利便性に配慮した確保に努めることは当然のことであり、「職員のことは考えていないと捉えられてしまう」とのご指摘には当たりません。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
2	【全体意見】	<p>一般市民からすると「なんでまだ作り始めないの？」としか思えません。整備基本構想の原案をすべて読みましたが、反対派の議員は何を根拠に反対しているのかさっぱりわかりませんでした。というか反対派がいる、とは様々な人から聞いていますが、その議員たちはなぜ反対なのか、その理由を地元住民に説明しているのでしょうか？私は直接本人から聞いたことも何かの媒体で発信しているのを見たこともありません。議会でギャーギャー騒いでいるだけなのでしょうねきっと。反対派は烏山駅前に庁舎ができることへのメリットを読み取れないのだと思います。それか「おれが反対してやったんだぞ！」と地元の人に自慢するための材料にしたいのでしょうか。年寄りには自慢が大好きなもの。</p> <p>そんな議員はガンガン無視して、はやいところ新市役所をつくらないといつ災害が起こって今度こそ現市役所が駄目になってしまうかわかりません。すでにどこに立てるかなどの議論をしている段階ではないと感じています。</p> <p>と、長々と愚痴を書いてしまい到底パブリックコメントにふさわしいとは言えませんが、烏山駅前につくること、ランドデザインすべてに大賛成です。市役所のみなさん頑張ってください。</p> <p>めちゃくちゃ応援しています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます。今後、着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p> <p>なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
3	<p>【本編7ページ】 市の方針</p>	<p>「数十年先の将来を見据えた「新たなまちづくり」と連携した一体的な庁舎整備が重要である」について、大いに賛成です。</p> <p>市民の方々は、『庁舎』のみに注目している傾向が強いですが、『新たなまちづくり』であることを強く訴えていただき、是非、まちづくりを通して衰退している市のイメージを変えてもらいたいです。</p> <p>庁舎整備の検討に十分話し合いは尽くされたと思います。早々に庁舎整備、まちづくりを開始してください。</p> <p>行政や議員の皆様には、周辺市区町もよく見てもらいたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高根沢町ではデマンドタクシーは100円です。 ・那珂川町では文化ホールや市民プールや温泉などがあります。 ・子どもの遊び場は大田原市のトコトコ、塩谷町の廃校利用、矢板市のこども館など非常に良質な環境が整えられています。 ・行政手続きで各庁舎をまわるのは那須烏山市くらいです。宇都宮市のように出張所のようなワンストップ窓口が必要です。 <p>交通の便やデマンドの料金や使いにくさによる不便さ、行政サービスの使いにくさ、子育て環境の不備（室内の遊び場や公園の充実など）をそのままにしているのは、住民は他市町へ流失していきます。</p> <p>私の配偶者も那須烏山市出身ですが、那須烏山市より高根沢町がいいとあり、高根沢町に家を建てました。</p> <p>ぜひ、子どもたちが将来、「那須烏山市で暮らしたい」と思えるようなまちづくりを早々に進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
4	<p>【本編 15～23 ページ】</p> <p>【資料編全般】</p>	<p>庁舎整備基本構想(原案)では、新庁舎の候補地として JR 烏山駅周辺が選定されました。中心市街地は衰退し、JR 烏山線の存続も新たな問題として浮上する中、本編 P19 の委員会の意見にあるように、地方自治法第 4 条第 2 項の規定に鑑みれば、市民の利便性や将来性を第 1 に考えた候補地選定は必要不可欠であり、JR 烏山駅周辺は、様々な那須烏山市の課題解決に繋がる理想的な候補地だと思います。</p> <p>また、新庁舎単体での議論に留まらず、国が推奨する「コンパクトシティ」の実現を念頭に置きつつ、その他の公共施設の再編・再配置に関する付帯意見として「まちづくりのグランドデザイン(案)」が打ち出されたことは大変意義深く、今後の新たなまちづくりに大きく寄与する提案だと思います。</p> <p>また、P22, 23 にあるように、庁舎整備や生涯学習施設、都市計画事業を一体的に捉えることで、国の有利な交付金事業の利活用による経費負担の軽減にもつながり、コストの面からも適正化が期待できます。</p> <p>以上のことから、P11, 12 で示された市の方針、並びに特に配慮が必要であると要望があった事項に関する付帯意見の基、新本庁舎の候補地は JR 烏山駅周辺とする庁舎整備基本計画(原案)に賛成です。</p> <p>なお、今後の庁舎整備を進めるに当たり、以下の内容について要望いたします。</p> <p>【要望事項】</p> <p>まちづくりのグランドデザイン(案)では、都市構造エリアは大きく二つの市街地で考えられていますが、当然のことながら、まちづくりは市全域で進めるべきものであり、地方自治法の規定や地域公共交通と連携したコンパクトシティプラスネットワークの考え方を踏まえ、本市の地域特性に基づいた拠点となる公共施設の整備と地域公共交通ネットワークの形成が不可欠と考えます。</p> <p>庁舎を含めた公共施設再編への提案として、用事がある人しかいないという発想ではなく、用事がなくても利用できることがポイントになると思います。市役所に用事があってもなくても行ける、利用できる場としての公共施設であることで、交流の拠点としての機能を持たせる複合的施設としての再編を求めます。</p> <p>例えば、若者からシニアまで多世代が利用しやすい行政手続き、図書や自習、会議、カフェ、カルチャー等で利用スペースがある、病院や買い物へも行ける</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>等の機能を集約することで、公共サービスの提供効率を図ることができると考えます。</p> <p>本市の人口構造や地理的環境を勘案するに、今後移動手段の充実は必須となるでしょう。移動手段（公共交通含め）が確保され、そこに行くことができることで、用事が足せる、情報等を得られる、誰かと会える、つながりができる等の視点や発想で捉えることが肝要です。</p> <p>現在及び今後検討される、学校規模の適正化や生涯学習施設再編においても、これらの視点から新たな複合化施設（小さな拠点）の機能としての役割を位置付けていくことで、利便性やコストパフォーマンスの向上が期待できるのではないのでしょうか。一般的にサービスは、提供する側と利用する側が、双方向の関係性があること、利便性が良いこと（顧客第一）等が原理原則となります。公共サービスにおいても、それらと同様であるべきで、官民協働での取り組みを期待します。</p> <p>また、市総合計画では、まちの目指すべき将来像として「新たな未来への第一歩 市民が主役 のまち 那須烏山市」を掲げており、P21 の市民等の声からも、この将来像を実現するためには、「多世代の、人と人が出会い、交流し、つながるまち」がキーワードになると考えます。</p> <p>「人と人が出会い、交流し、つながるまち」とすることで、主体性が育まれ、賑わいの創出、関係性や生産性の向上といった効果が期待できます。そのためには、環境の整備や有機的な連携ができるためのしかけが不可欠です。他自治体での取り組みも参照ください。</p> <p>そのようなソフトとハード両面からの公共インフラの整備が、人、モノ、情報、お金の呼び水となることで、民間サービスの参入にもつながり、産業が生まれ、結果として賑わいの創出、関係性や生産性の向上といった、持続可能なまちとしての生まれ変わり、効果が期待できるのではないのでしょうか。</p> <p>このように、那須烏山市全体が活性化していくため、「ソフト」と「ハード」が連動する「しかけ」を、誰が、どのように進めていくか。まちづくりの明確なビジョンと意図をもって進めていけるか。その上で、何のために、何の機能</p>	

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>を、どこに、どれくらい、どのように配置していくか。もちろん、庁舎や公共施設の再編だけで、まちづくりが向上するものではないとは存じます。雇用や子育て、健康、医療、介護、農林、商工業、環境等あらゆる分野の産業等の施策を連動させていくことで、地域課題の解決や新しい価値創造につながり、結果として持続可能なまちへと発展していくものだと考えます。</p> <p>今回の那須烏山市庁舎整備基本構想（原案）と、その基礎となる答申過程で提示された「まちづくりのランドデザイン（案）」及び「特に配慮が必要であると要望があった事項に関する付帯意見」を踏まえ、行政・市民、「私たち」が一緒になって、みんなで人と人が出会い、交流し、つながるまちづくりを実践していくことができれば、「みんなが主役になれるまち」が具現化できると信じてやみません。</p> <p>人口減少と高齢化が同時加速的に進んでいる実態を肝に、今こそ、みんなで力を結集させ、自分たちのQOL（生活の質）の向上、そして未来のこどもたちの夢や希望を叶えることができる、持続可能なまちづくりに向けた本気の一步を踏み出しましょう。今回がラストチャンスです。</p>	
5	<p>【全体意見】</p> <p>【特に配慮が必要であると要望があった事項に関する付帯意見】</p> <p>【本編22～23ページ】事業スケジュール</p>	<p>全体として良くまとめられた内容である。わかりやすく、内容に賛同する。</p> <p>この意見に大いに賛成する。</p> <p>①JR 烏山駅前通りを国道まで延長し拡巾することを望む。</p> <p>②JR 烏山駅周辺を都市再開発し、高度に施設を集中化させ、コンパクトシティ化されることを願う。</p> <p>当地は広い土地を持つ地主がおり、その際には十分協力を得られる意見が出されている。</p> <p>更に早い実行を願う。現庁舎は次の地震があれば、大変な被害を受けることが予測されている。ハリーアップ！！やらないこと、遅れることがリスクだ。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
6-1	<p>【本編 6 ページ】 (5) 庁舎整備に係る財源の確保状況</p>	<p>庁舎整備に係る財源の確保状況について、1㎡当たりの単価50万円をベースに建設工事費を試算しているが、後述において理想とする面積が出ているのであれば、+αでなく現時点での㎡単価をある程度確認しておいた方が良いと思います。</p>	<p>ここでの「+α」とは、市有施設整備基金及び庁舎整備基金のほかの財源である「合併特例債約10億円」及び「財政調整基金約29億円」のことを指しています。</p> <p>また、建設工事費の単価については、旧基本構想（素案）では1㎡当たり50万円で試算していましたが、物価高騰等を踏まえ、本基本構想（原案）では1㎡当たり60万円で試算しています。ただし、今後も物価高騰等によるコストアップが懸念されるため、引き続き財源の確保に努めるとともに、市場状況を注視し、適時事業費の再試算を行って参ります。</p>
6-2	<p>【本編 7 ページ】 市の方針</p>	<p>建設地は烏山線の存続も考え、JR烏山駅周辺に造ることに大いに賛成であるが、下段の市の方針の中にある、その他公共施設との複合化を視野の部分で、駅前にある市庁舎であるので、休日も市民および市外からの訪問者が休憩利用できるコーナーや飲食店や観光案内スペース等を是非共、検討いただきたい。駅前である事を最大限有効利用することを大きなテーマとしてもらいたい。</p>	<p>JR烏山駅周辺への庁舎整備に関しては、多世代が気軽に集うことができる交流施設の整備を求める声のほか、市役所が稼働しない土日祝日においても、市民等がコミュニティスペースとして有効活用できるようにしてほしいといった意見が寄せられています。</p> <p>ご意見を踏まえ、JR烏山駅周辺の賑わい創出につながるよう、休日の施設の有効活用策を検討して参ります。</p>
6-3	<p>【本編 13 ページ】 5 新庁舎の規模</p>	<p>新庁舎の規模において、遠い将来に人口の減少に伴い、市職員の人数も減少せざるを得なくなる時が来るかもしれず、その時に備えて庁舎の間取りにおいて、ある程度空間の変更が出来、何か別の用途にも使えるようにすることを検討願いたい。</p>	<p>将来的な人口減少に伴う職員数の減少を見据え、検討委員会からも「特に配慮が必要であると要望があった事項に関する付帯意見」において、「庁舎整備基本計画の策定に当たっては、将来の変化にも柔軟に対応できる持続可能な庁舎とされたい」旨の意見をいただいています。ご意見を踏まえ、職員数の変化に伴った柔軟なレイアウト変更が可能であったり、必要に応じて他の機能に転換できるような、フレキシブルで持続可能な庁舎となるよう検討して参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
7-1	<p>【本編 7 ページ】 市の方針</p>	<p>市庁舎整備に関しこれまでの長い間のご準備と今回の資料の作成、大変お疲れ様でした。</p> <p>庁舎整備検討委員会の答申の内容を拝見し、あらゆる角度から検討され J R 烏山駅前に新庁舎を整備する答申が出たことは、大変素晴らしい事と感じております。</p> <p>まだまだ先は続くようですが、新しい那須烏山市の第一歩として大いに期待しております。</p> <p>建設地は烏山線とのコラボレーションであり、下段の市の方針の中にある、その他公共施設との複合化を視野にする部分で、駅前にある市庁舎であるので、休日の施設の有効活用を検討いただきたい。</p> <p>全国の行政施設を十分に参考にしながら、市民および市外からの訪問者が休憩利用できるコーナー、山あげ祭り映像の放映やミニチュア模型の展示、飲食店や観光案内（映像）スペースや、更なるアイデアを調査検討いただきたい。駅前庁舎である特徴を最大限活用することを望みます。</p>	<p>J R 烏山駅周辺への庁舎整備に関しては、多世代が気軽に集うことができる交流施設の整備を求める声のほか、市役所が稼働しない土日祝日においても、市民等がコミュニティスペースとして有効活用できるようにしてほしいといった意見が寄せられています。</p> <p>ご意見を踏まえ、J R 烏山駅周辺の賑わい創出につながるよう、休日の施設の有効活用策を検討して参ります。</p>
7-2	<p>【本編 14 ページ】 (5) 敷地面積の想定</p>	<p>庁舎階数の検討であるが、駅前でもあり緑地帯の面積を出来るだけ広く確保し、そのスペースで駅前での各種イベントが開催（烏山線の利用向上のため）出来るようにすべきと考えます。</p> <p>そのためにも庁舎階数は 3 階建てを希望いたします。</p>	<p>環境に配慮した緑地帯や駐車場ほかイベントができるようなスペースの確保は非常に重要であると考えます。いただいたご意見を踏まえ、検討して参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
7-3	<p>【本編 24 ページ】 (2) 事業手法</p>	<p>事業手法について、適用可能な事業手法として総合的に判断する、とありますが、最終的に建設主体は大手ゼネコンになるかと思えます。</p> <p>しかしながら、ゼネコン間ではある種の話合いが考えられることから事業手法は、市民の意向を反映させやすく、工事費を正確に管理可能な従来方式が良いと考えます。</p> <p>令和5年のタウンミーティングでも申し上げましたが、隈研吾設計事務所等の、ゼネコンとも対等に交渉できる設計事務所を活用願いたい。</p> <p>先行事例として、那須塩原市の新庁舎は隈研吾設計事務所であることから、是非とも調査研究をしていただきたい。</p> <p>また、単に駅前に箱もの建築物を建てるのではなく、那須烏山市の顔、ランドマーク的な話題性のある、見てみたい、寄ってみたいと思わせるような建物デザインにも拘っていただきたいと思えます。</p> <p>那須烏山市全体でイメージされるのは、山あり、川あり、滝あり、山あげ祭りあり、の田園風景であり、それらにマッチした市庁舎を目指していただきたい。</p> <p>(余談) ちなみに隈研吾の建築物は木の素材を生かすため、経年劣化が著しいとのイメージがあるが、その点は最初からお願いしておけば解決できる問題だと思われま。</p>	<p>ご意見のとおり、各事業手法によって、それぞれのメリット・デメリットがあるところです。具体的な事業手法については、基本計画を策定する中で検討することとしていますが、いただいたご意見を踏まえ、検討して参ります。</p> <p>また、基本計画を策定した後、基本設計・実施設計を行うこととなりますが、事業者の選定方法等についても、基本計画策定における事業手法の検討と併せて検討して参ります。</p>
8	<p>【本編 20 ページ】</p>	<p>まずは基本構想をまとめ上げました庁舎整備検討委員の皆さまに敬意を表します。</p> <p>候補地を JR 烏山駅周辺に絞り込んだ案を支持いたします。</p> <p>「JR 烏山線の存続・賑わいの創出等、更なる波及効果も期待できる。」</p> <p>これが全てを物語っていると考えます。</p> <p>また、コンパクトシティを目指す観点からも理にかなっている答申であると思えます。</p> <p>今後、那珂川流域は急速な人口減少が予想されています。</p> <p>このまま何もせず妨害するのは愚者のやることです。</p> <p>重箱の隅をつついて文句を言うことは誰でもできます。</p> <p>ぜひとも、JR 烏山駅周辺に新庁舎を整備していただきたいと切に願います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
9	【全体意見】	<p>40 億円以上もかかる庁舎整備の是非を問う市議会議員によるアンケート調査が届きました。</p> <p>しかも、庁舎整備検討委員会で新庁舎整備の候補地が選定された後にアンケートを実施する意味が全く理解できません。</p> <p>既存の市役所が古くて安全性が確保できない状況なのに、お金がかかるからといって庁舎を整備しないという選択肢はないと思います。</p> <p>また、那須烏山市の今後の将来を考えるならば、候補地に選定された JR 烏山駅への整備が相応しいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p> <p>なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>
10	【全体意見】	<p>烏山地区の市街地が空洞化しており活気が無い。</p> <p>JR 烏山駅近くに庁舎を整備し、そこを核とした新たなまちづくりを進め、活気を取り戻してほしい。</p> <p>庁舎だけでなく、その他の公共施設も含めたランドデザインの案が示されたが、やっと前向きな対応をしてくれたと嬉しく思います。多くの市民はワクワクすると思います。実現に向け私たち市民との意見交換を行いながらスピード感をもって取り組んでほしいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>
11	【全体意見】	<p>公園や認定こども園、庁舎など、事あるごとに反対している市議会にはうんざり。</p> <p>市議会議員には市を良くしようという気持ちはないのか。</p> <p>理由をつけて反対ばかり。</p> <p>JR 烏山駅に庁舎を整備するという市の考え方は正しいと思う。</p> <p>市議会に負けずに頑張っていたきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p> <p>なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>
12	【全体意見】	<p>市の庁舎については、5 ページの現庁舎の改修・耐震補強と新築建替えの効果比較の一覧表に見ても新築で整備すべきであることは一目瞭然であると思います。</p> <p>また、6 ページに財源の確保状況が明記してあり、市としても庁舎を立てるための貯金があることが分かりました。</p> <p>我々が収めた貴重な税金です。</p> <p>市民が期待する新庁舎建設を希望します。</p> <p>新庁舎の建設候補地が、JR 烏山駅前周辺になりとてもうれしく思いました。</p> <p>行政主導で、駅周辺一帯の整備を行えないのかなと思いました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
13	【全体意見】	南那須地区に住む住民として、中央公園への庁舎整備にはあまり賛同できませんが、JR 烏山駅ならば多くの市民も理解するのではないのでしょうか。一方では、大金駅前の活性化策も忘れずに進めてください。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
14	【全体意見】	何年前に、JR 烏山駅前の土地を市が取得したが何にも利用されていないような気がします。 新庁舎の建設候補地が、JR 烏山駅前周辺になれば便利になる。 駅周辺には、空き地があるので行政主導で、駅周辺一帯の整備を考えていただきたい。 庁舎が整備されれば新たな人の流れも期待できる。 若者たちが喜ぶような街づくりをして欲しい。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
15	【全体意見】	JR 烏山駅周辺への庁舎整備に賛成です。 併せて、JR 烏山駅東側の太陽光敷地も有効活用して、人が集まれるような公共施設の整備も希望します。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
16	【全体意見】	JR 烏山線の存続を考えるならば、JR 烏山駅周辺に庁舎を整備することは理に適っていると思います ぜひ実現させて下さい。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
17	【全体意見】	一刻も早く新庁舎建設を望みます。 本来であれば、合併当初に建築する予定がズルズル 20 年 武道館建設も必要だったと思うが、市役所も必要だったと思う。 合併特例債のお金はどこに消えたのか？ 「お金がないから建設できない。」 「税金の無駄使い」という人もいるが、今の市役所は県内ボロ 1 位だろう。 駅前の賑わいを取り戻すためにも、駅周辺に庁舎建築を。 そして、図書館や、福祉カフェ等も併設してくれると嬉しい。 今、新築の家を建てると坪 100 万はする時代。 昔とはちがう。 物価高騰が進む中、早く決断をしないとほんとに建築費が高くなると思う。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
18	<p>【本編 14 ページ】 (5) 敷地面積の想定</p>	<p>(5)敷地面積の想定について、庁舎階数を2階建、3階建を想定した敷地面積の記載があります。</p> <p>これは、1棟すべてが市庁舎として使用することを想定しているのでしょうか。近頃は、行政の庁舎にマンションが併設されていたり、下階層に商業施設を併設している役所があるような記述を見たことがあります。</p> <p>今後何十年と使用する庁舎と考えた場合、行政機能のみではもったいないとは思いました。せっかくの新築するのであれば、市民にもたくさん利用してもらえ、庁舎がいいと思います。</p> <p>市民自ら行きたくなる、市のシンボルとなる庁舎を作るべきです。そういう点から言えば、JR 烏山駅周辺への整備は理に合っていると思います。庁舎を建てて民間事業者が入ったり、市民のふれあえるフロアの検討もしてはいかがでしょうか。</p>	<p>近年の他市町の庁舎整備事例を見ますと、国の算定基準による想定床面積に加えて、市民交流機能や防災拠点機能といった付加機能による面積が確保されています。本市においても、こういった付加機能分として概ね 1,000 m²を加算して、想定延床面積を算出しています。具体的な機能については、基本計画の策定において検討していくこととなりますが、市民の利便性を高め、多くの市民に利用していただける庁舎となるよう、いただいたご意見を参考に検討して参ります。</p>
19	<p>【全体意見】</p>	<p>JR 烏山駅に新庁舎を整備するのであれば、烏山線を使用して通学する学生も有効活用できるように学習室を併設して欲しい。</p> <p>また、子育て世代の人たちがちょっと立ち寄って交流することができるようなスペースがあると嬉しい。</p> <p>庁舎は市の顔でありシンボリックなものだと思います。</p> <p>2つが融合することで、JR 烏山線の存続と市の発展に繋がるものと期待しています。</p> <p>子どもたちにも夢と希望を与えるような、明るいまちづくりを展開して行ってください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
20	【全体意見】	<p>新庁舎のJR烏山駅周辺への移転は賛成。実現できれば非常に良いと思う。</p> <p>若い世代（現在の中高生）が希望の持てる市にするには、働く場所の選択肢が増えて欲しい。</p> <p>生活の基盤となる働く場所を企業や新規事業を呼び込む政策が欲しい。古くなった施設が維持管理やマイナス資産となるのなら、雇用を増やす為という名目のもと有期限の無償貸与等の方法で企業誘致に活用してもいいと思う。</p> <p>先日の出前講座で、市外から那須烏山市に通勤している人も多いと伺った。それならば、少しでも那須烏山市に住む人が増えるような取り組みもできると思う。</p> <p>空き家をシェアハウスとして活用している自治体もあるようなので、空き家バンクを一步進めた取り組みを検討するのも一考だと思う。</p> <p>烏山線の利用者を増やすため、駅周辺に庁舎ができた場合に市役所職員の皆様にも通勤、出張に上手く活用して頂きたい。</p> <p>駅付近の294号側に道の駅ができれば、市役所 清水川公園 山あげ会館 道の駅 烏山駅 目視できる範囲に配置でき、いままで294を素通りしていた人が、烏山に立ち寄ってくれると思う。</p> <p>人口が減少している中で、イベントによる集客にも陰りが感じられる。茂木町や那珂川町との連携できれば、294号沿いの観光ルートモデルとして広がりが出るので、近隣の市町村との連携したイベントも企画できるのでは。例えば、メグロのイベントは参加者も多く見られ、好評だったと聞いている。茂木町のツインリンクもてぎと連携して、HONDA カブ系のパレードのスタート地点にもできる。近隣の市町村も巻き込んだ広がり是非、検討して欲しい。</p> <p>議員の皆様におかれましては、民意を反映するというお立場から、未来を担う若者にとってもいい街のベースを作ってもらえますように、また、透明性を持ってこの整備基本構想が実行されますよう議会の役割を発揮していただきますようお願いいたします。</p> <p>大変失礼なことを申し上げているかもしれませんが、昨今の兵庫県の問題を拝見すると個人情報の扱いにご注意くださるようお願いいたします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p> <p>なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>


No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
21	【全体意見】	<p>賛同する点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市核の設定と候補地の選定 基本構想において、「烏山地区（烏山駅を中心とした都市活動拠点エリア）」と「南那須地区（大金駅を中心とした都市生活拠点エリア）」の明確化は、まちづくりの方向性として適切であると考えます。特に、JR 烏山駅周辺を候補地とした点については、駅を核とした市街地活性化が期待でき、まちづくり全体の活性化に寄与するものと感じます。 2. 分庁方式の解消と利便性向上 現在の二つの庁舎が抱える老朽化や耐震性の問題、駐車場不足、分庁方式の非効率性などの課題に鑑み、統合庁舎の整備が喫緊の課題であると強く感じます。 3. 南那須地区への配慮 南那須地区に地域窓口機能を設置するとの記述があり、これにより地域住民の利便性が損なわれることが防がれる点についてはいいように思います。 4. 災害時の拠点としての位置選定 庁舎はまちのシンボルであるだけでなく、災害時の重要な拠点となる施設です。建設地選定においては、災害リスクの低い場所を最優先とするべきであり、ハザードマップなど科学的データに基づく慎重な判断が必要とすることから「JR 烏山駅前周辺」は適しているのではないかと思います。 <p>懸念する点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 整備の遅れについて 合併から 20 年が経過しようとする中、なぜ早い段階で庁舎整備が進められなかったのか、その理由を市民に丁寧に説明し、今後の教訓としていただきたい。 2. 駅周辺地域の現状と課題 JR 烏山駅周辺では、以下のような問題が進行しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展 ・空き家・空き地の増加 ・商業事業者の廃業 <p>庁舎整備と並行して、中心市街地の区画整理や「コンパクトシティ」の形成を進め、まちの価値向上と賑わいの創出に取り組む必要があります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます。今後、着実に丁寧な検討を進めて参ります。</p> <p>なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>3. 市民への情報共有と納得感の醸成</p> <p>一部市議会議員による新庁舎建設についてのアンケート実施が話題となっていますが、反対意見の背景や根拠については議場で丁寧に議論し、市民が納得できる形での合意形成が必要なのではないのでしょうか。</p> <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎整備は、単なるハード整備にとどまらず、市民生活の質向上や暮らしの充実を目指すべきです。官民連携によるソフト面の取り組みも重視し、行政がそのリード役を担ってください。 ・庁舎整備の長期化が、他の課題解決の遅れを招いているように見受けられます。一刻も早く整備方針を確定させ、次の課題解決に着手できる体制を整えてください。 <p>私たち市民や事業者も協力を惜しみませんので、市全体の活性化に向けてリーダーシップを発揮していただくようお願い申し上げます。</p>	
22	<p>【本編 22 ページ】</p> <p>7 基本計画の策定に向けて</p> <p>(1) 今後の進め方及び事業スケジュール</p>	<p>「那須烏山市庁舎整備基本構想(原案)」で市の方針として述べられている「新庁舎の候補地をJR烏山駅周辺とする」ことに賛同する。</p> <p>また、「基本計画の策定に向けた今後の進め方及び事業スケジュール」において、望ましい生涯学習施設の在り方について整理を進めていることが紹介されているが、JR烏山駅周辺の地域には市民が気軽に集える公共的施設が少なく、「那須烏山市の地域振興(まちづくり)を考える意見交換会(R6.6.20開催)」の意見として紹介されている、「(市庁舎が)稼働しない土・日曜日においてもコミュニティスペースとして有効活用を図って欲しい」との意見は切実である。</p> <p>新庁舎の候補地である駅前のオープンスペースではマルシェの開催など賑わい創出イベントが開かれることもあり、山あげ祭り期間中の来訪者への交流情報提供の場としても利用されている。</p> <p>新庁舎の整備に当たっては、職員の会議室としての使用と合わせて、地域住民が休日や夜間も使用できる柔軟性のある集会施設や、屋外と連結したステージや音響設備も備えたスペースなど、広く市民が活用できる汎用性のある機能を備えた施設をご検討いただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
23	【全体意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・ P20 の庁舎の候補地について全面的に賛成です ・ 建設についても大賛成です ・ 早く市庁舎が見たいです 	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
24	【全体意見】	庁舎整備については、序々にではありますが、整いつつあることにホットしております。誰れが見ても今の庁舎のまゝではダメなことは明らかで、一日も早い着手を望みたいものです。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
25	【全体意見】	庁舎整備に関して早く整備していただきたい。 場所は駅前の活性を考えても駅前で賛成です。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
26	【全体意見】	せっかく基本構想が出来上がっているので早急に進めて下さい。 たいしんの問題から職員の安全面からと若い人が残れる街づくりが必要	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
27	【全体意見】	築 50 年以上の烏山庁舎。耐震に不安のある両庁舎を統一して早く新庁舎を作ってください。JR 烏山駅活性化の為にも場所は駅前で良いと思います。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。
28	【まちづくりのランドデザイン】	<p>「新たなふれあい交流ゾーン」に賛同します。</p> <p>本市は人口減少が著しいですが、日中車で走っていると、コンビニのイートインスペースやベンチなどでお茶を飲んで楽しく話している高齢者をよく見かけます。また、ファミリーレストランも車が多い印象です。</p> <p>人口密度が低い地域なので、市民が用事がなくても集まれる場所があり、それが市役所でもよいと思います。</p> <p>庁舎整備が進まない理由はわかりませんが、今は、用事がなければ役所にはいきません。用事がなくてもいける場所になれば、賑わいが起きるのでは？</p> <p>私の息子は進学で北海道函館市にいます。函館市には「函館市亀田交流プラザ」という市の建物があり、息子は、夜までやってて、空調が効いてて、お茶も飲めるし、行けばいたい友達が勉強しているからと、普段から入り浸っています。</p> <p>私も、実際行ったことがあり、高齢者がお茶のみをしていたり、学生が読書や勉強をしたりしていて、賑わっていました。</p> <p>役所機能の傍らに市民が用事がなくても集える場所があってもよいかもしれません。</p> <p>子どもが遊べる屋内外施設が市役所にあり、役所に行ったときに子どもの遊ぶ声が聞こえるとうれしいです。</p>	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
29	【全体意見】	<p>那須烏山市が抱える様々な問題、人口減少や烏山線存続にの存続に加え、いつ起きてもおかしくない地震や豪雨による災害、その対応を考えた時に一番重要なのが庁舎だと思います、協議・対策・対応をする重要拠点がバリアフリー化されてない、耐震強度もない、非常電源も十分ではないというのは、大きな問題だと思っています、人口減少や廃線の問題はある程度予測できると思いますが、災害は明日起きるかもしれません、早急に進めて頂きたいと思っています、那須烏山市民は新庁舎に期待していますし求めています、時間とお金をなるべくかけないで進めて頂きたいと思っています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>
30	【全体意見】	<p>庁舎整備検討委員会の答申書を読みました、職員のみなさんの職場環境と市民の生活を良く考えた内容だと感じました、何年も話だけはあったが一向に進まない新庁舎の件は正直諦めていましたが、生きているうちに新庁舎が見れるのではないかと期待しています、これから那須烏山を背負っていく若い世代の意見を聞きながら早急に進めて下さい、庁舎が決まる前に烏山線がなくなってしまわないかと不安です。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>
31	【全体意見】	<p>市役所が新しくなるのは無理だと思っていましたが、何年も前から話は聞いていましたが場所も決まってない状況だったので、駅前を予定地に選んだのはいいと思います、駅を中心に昔みたいな賑わいができるよう庁舎には市民が交流できる憩いの場を入れてくれると助かります、早くできることを望んでいます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
32	<p>【本編 22 ページ】</p> <p>7 基本計画の策定に向けて</p> <p>(1) 今後の進め方及び事業スケジュール</p>	<p>今回作成いただいた構想の原案に賛成いたします。</p> <p>基本計画にもあるように私の意見としましても新庁舎の整備に際しては、庁舎単体だけでなく、今後整備が必要となるその他公共施設（小中学校施設、生涯学習施設、公民館、図書館など）についても総合的に管理、連携しやすいことを考慮し行政にしか出来ない再編、再配置を検討する必要があると思います。</p> <p>今後、那須烏山市全体の人口減少、超高齢化社会を思慮するに地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりが望ましいと考えます。</p> <p>新市役所の再編には利用する住民の意見も大切かと存じますが働く職員の意見にも耳を傾ける必要があると思います。</p> <p>働きやすい環境の整備が結果として住民サービスの向上に繋がるようにも感じます。また、時間もコストと感じておりますので十分な検討や説明も大切ではあるが、早急に構想をまとめて計画から具体的な実行に移していただきたいと提言致します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
33-1	<p>【まちづくりのグランドデザイン、本編9ページ】 ②第1次総合計画</p>	<p>烏山市街地は城下町として栄えた地域である。しかし10年ほど前には法務局が宇都宮に統合された。また県南那須庁舎は業務を大幅に縮小している。駅前や市街地の商店街は閑散とした状況である。平成19年の答申当時からは17年が経過し状況がかなり変化している。</p> <p>しかるに将来においては烏山市街地は龍門の滝、烏山城、山あげ祭りなど貴重な自然と文化的な遺産が残る場所として観光に生かして行くべき地域である。駅前には観光案内所などを整備し現在の広い駅前広場は山あげ祭りの“ぶんぬき”などイベントなどに活用する場所として残すべきと考える。駅前の観光拠点として使える貴重な場所に市庁舎がスペースを占領してしまうのはもったいない。</p> <p>総合計画審議会からの答申（H19.7.10）は烏山市街地を「都市活動拠点エリア」としているが、それは過去の話であり現在は「歴史、文化、観光エリア」と位置付けるのが相応しい。将来都市構造は下図のとおり南那須エリアを原案とおり「都市生活拠点エリア」とし、烏山エリアは「歴史・文化・観光エリア」とするのが相応しいと考える。当市は二つの異なったエリアを持つ市として今後も存続していくものとする。どちらが中心という事ではない。</p> <div data-bbox="405 871 1375 1345" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">将来都市構想の提案</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; color: red;">南那須エリア</p> <p>都市生活エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> • 宇都宮地域への近接性を生かした良好な居住エリア。 • 広い平坦な地形を生かした定住促進の中核として機能するエリア。 • 富士見工業団地を中心とした産業集積の機能を生かし雇用を創出するエリア。 • 公共施設の適正な配置や効率的な土地利用の推進などにより、本市の定住促進拠点としての環境を形成していく。 </div> <div style="text-align: center; margin: 0 10px;">  <p>交流</p> </div> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; color: blue;">烏山エリア</p> <p>歴史、文化、観光エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> • 山あげ祭りや烏山城など古い文化や歴史をアピールし当市の観光拠点とするエリア。 • 烏山和紙体験、メグロキャノンボールなど産業遺産を活用したイベントで活性化をはかるエリア。 • 龍門の滝および那珂川やその東岸の観光やな、ミカン園、ホテル、遊歩道など自然豊かな環境を観光に生かすエリア。 </div> </div> </div>	<p>本市における将来都市構造は、2町合併時に策定し、合意に至った新市建設計画の内容を踏襲したものであり、令和5年3月に市議会の議決を賜った第3次総合計画として運用しています。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
33-2	<p>【まちづくりのグランドデザイン】</p>	<p>広域で考えた那須烏山市の位置づけと、本市が取り組むべき施策。 まちづくりのグランドデザインはもっと広域で考えた方が良いと思う。 現在の那須烏山市は宇都宮市を中心とする衛星都市として位置づけられ、多くの勤労者が宇都宮方面に職を求めている。また商業の拠点は宇都宮市に集中し、那須烏山市の市民の多くが買い物のために宇都宮市のベルモールやインターパークそして JR 駅と東武駅周辺を訪れている。さらに中学校卒業後の高校生、大学生の多くが宇都宮方面に通学している。</p> <div data-bbox="405 387 1292 1241" data-label="Figure"> <p>出典：地域振興委員会提言書「トチギの未来夢計画 ～多様な生活の可能性にあふれた「選ばれどちぎ」を目指して～」より引用</p> <p>県内地域拠点地図</p> </div> <p>那須烏山市は宇都宮市を中心にした地域の拠点の一つではあるが当市単独で昔の城下町であった時代のように映画館やボーリング場やデパートが有るような繁栄した地域とは成りえない。</p>	<p>今回付帯意見として策定された「まちづくりのグランドデザイン（案）」については、烏山市街地及び南那須市街地を中心とした将来像をイメージしたもので、本市における今後の公共施設の再編再整備を検討する際の参考資料となるものです。 いただいたご意見は今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>当市の位置づけを那須烏山市単独で考えるのではなく、宇都宮市を中心とした地域の一員として、良好な居住環境と、優秀な人材を提供する地域となる必要がある。</p> <p>宇都宮周辺の日産、ホンダ、キャノン、マニー、長府などをはじめ大中小の多くの企業が求める人材を輩出したい。</p> <p>そのためには優秀な人材を育成する必要があり、質の高い教育環境と子育てしやすい住環境の整備が必要である。</p> <p>また若い世代の子育てを支援し地域を守る祖父母の世代のための交通環境の整備も喫緊の課題である。</p> <p>新庁舎の予算を削減し、教育環境と安全安心な住環境、医療環境そして交通環境の整備に投資する必要がある。</p> <p>これは、まちづくりに関する市民意向調査で多くの市民が訴えている事である。40億円を新庁舎に費やすより、節約して他にやる事が有るとい事だ。</p>	
33-3	<p>【本編11ページ及び21ページ】</p> <p>【市の方針】</p>	<p>那須烏山市がいま行うべきは、市民が生活しやすい地域として存在することである。</p> <p>それは子育てがしやすい町、高齢者が生活しやすい場所、安全な町、などである。</p> <p>それらの施策に市の予算を投入すべきである。立派な市庁舎を市民は求めている。今は市庁舎が2か所に分かっているが、市民は何も不自由していない。今のままの二つの庁舎で宜しいのではないか。耐震性の問題のみ解消すれば良い。</p> <p>効率が悪いと言うがネットで繋がる時代だ。テレビ会議も普及している。2ヶ所に分かれていて仕事が出来ない訳はない。</p> <p>烏山庁舎、南那須庁舎をそれぞれ今の場所に最低限の費用で耐震補強をするか、安価なプレハブの様な建物を建てる事を提案する。</p> <p>新たな土地の取得費用が掛からない点は大きなメリットだ。</p> <p>26年後の2050年には当市の人口は半減し13000人となる。しかも65歳以上が7400人。市庁舎に大金を投じる余裕は有りません。</p>	<p>本市は、2町合併以降、暫定的に分庁方式を採用していますが、住民サービス面では「各庁舎にどの部署が配置されているか分かりにくい」、「複数の用件を済ませるために別の庁舎まで移動しなければならない」といった弊害や、行政効率面では「業務効率が悪く、迅速な事務処理・意思決定ができない」、「施設の維持管理のコスト削減が難しい」といった様々な弊害が出ています。東日本大震災の発生を受け実施した烏山庁舎及び南那須庁舎の耐震診断の結果、両庁舎とも耐震性が不十分で、倒壊又は崩落する危険が高く、建替え等の抜本的な対策が望ましいとの判定となりました。こういった事情を踏まえ、本編7ページの「市の方針」に記載のとおり、「防災」及び「まちづくり」の拠点となる庁舎整備については、その他公共施設との複合化を視野に新築整備することが望ましい」としています。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
33-4	<p>【本編6ページ】 (5) 庁舎整備に係る財源の確保状況</p>	<p>安価な建物の事例。 下の写真は“つくばみらい市”（人口5万人）の伊奈庁舎である。ダイワのプレハブ構造である。ウェブサイトによると4302平米で13億円とされている。㎡単価30万円である。当市の予算40億円は高すぎるのではないか。</p> 	<p>庁舎整備に当たっては、建物の構造によって事業費も大きく変わることとなります。庁舎の具体的な構造については、基本計画の策定において検討することとなりますが、いただいたご意見を踏まえ、財政負担に配慮しつつ、機能的で費用対効果の高い庁舎となるよう検討して参ります。</p>
33-5	<p>【特に配慮が必要であると要望があった事項に関する付帯意見】</p>	<p>災害拠点として市庁舎の重要性に言及しているが、分庁舎方式は災害が発生した時に互いにバックアップしながら防災拠点として機能出来るというメリットも有る。</p>	<p>東日本台風を教訓とした災害時のリスク分散の観点から、本編11ページの今後の庁舎方式のあり方についての市の方針として、「今後の庁舎方式は、原則本庁方式」とするとともに、「市民の利便性や災害時のリスク分散の観点に配慮するとともに、有事の際にも機能するよう、南那須地区には地域の窓口サービス機能を配置する」としています。</p> <p>市公共施設等総合管理計画において「保健福祉センターは、市役所の支所機能及び災害時の避難所機能を兼ねた運用をする」と定めているほか、市地域防災計画においては、烏山庁舎が災害対策本部の機能を果たせない場合の代替施設として、保健衛生センターをサブ拠点に位置づけています。これらを踏まえ、災害時のリスク分散の観点から、烏山庁舎が被災した際の災害対策本部のサブ拠点である保健福祉センターに南那須地区の窓口機能を配置することとしたものです。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
33-6	<p>【本編4ページ】</p> <p>(2) 他自治体庁舎の耐震化及び非常用電源設備の整備状況</p>	<p>72時間以上稼働可能な非常用電源設備の整備は庁舎の問題とは切り離して整備が出来る事なので、速やかに整備してもらいたい。5kW程度の発電機(70万円程度)を設備すれば、非常時の最低限の市の機能は維持できると考える。「那須烏山市のみが未整備に状況になっている。」とのんびりと言っている場合ではない。災害は明日にでも起こる。</p>	<p>現在、烏山庁舎及び南那須庁舎には、職員招集時の照明確保や情報収集用の電源として、稼働式発電機が配備されていますが、燃料が満タンでも6時間程度しか稼働できず、また、出力も5.5kVAしかなく、庁舎全体の電力を賄うことは到底できません。国が求める72時間以上稼働できる非常用電源設備を設置するためには一定のスペースが必要となりますが、老朽化・狭あい化が進む現庁舎に新たに常設の非常用電源設備を設置することは難しい状況にあります。ご意見のとおり、災害はいつ起きるかわかりません。災害への備えとして、市民の生命・財産を守る防災拠点の役割を果たす新庁舎整備の早急な整備が必要となっています。</p>
33-7	<p>【本編7ページ】</p> <p>市の方針</p> <p>【特に配慮が必要であると要望があった事項に関する付帯意見】</p>	<p>市庁舎にホールや体育館などの機能を持たせようという意見も有るが、広域で考えて近隣の市町村のホールや体育館を利用すれば良いと考える。</p> <p>例えば那珂川町のアジサイホールや高根沢町の町民ホールなど。相互利用のメリットはお互いに有ると思う。体育館は小中学校の施設を市民に使いやすいカタチで開放すれば良い。</p> <p>図書館、体育施設では、宇都宮市と中心とした10市町村が広域利用協定を締結している。これにも当市が参加したら良いと思う。</p> <p>箱物に費用を掛けずに、住みやすい町を作ることに費用を掛けた方が得策。(ホールの相互利用については平成27年3月定例会で中山五男議員が指摘し市長が答えております。)</p> <p>2050年の当市の姿、人口13000人、65歳以上7400人の町に立派なホールや新たな体育館が必要でしょうか。維持管理に更なる経費が掛かります。</p>	<p>庁舎整備の検討に当たっては、「近隣市町のホールを借りるのではなく、市内に発表の場がほしい」、「学校の体育館ではなく、市民がスポーツを楽しめる交流の場がほしい」などといった、本市に不足している公共施設の整備を求める声が非常に多く寄せられています。人口減少が進む中で、これまでと同じ規模・数の公共施設を維持していくのは困難です。従いまして、老朽化が著しい公共施設の統廃合や複合化・多機能化など、維持管理コストを最小限に抑えることができるコンパクトな施設整備を進めることとしています。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
33-8	【全体意見】	<p>庁舎の建築に関しては、旧南那須町と旧那須烏山町の双方の住民の気持ちを大切にすることが有ると思います。</p> <p>旧烏山町の住民は烏山市街地に愛着があり、新市庁舎を烏山市街地に誘致したいという気持ちは分かります。一方で旧南那須町の住民は、同様に南那須町に愛着を持っています。新市庁舎を強引に烏山市街地に建設しようとすることに反発が強いのが事実です。</p> <p>双方の軋轢を生む強引なやり方は止めて、現状維持を提案します。すなわち、南那須庁舎と烏山庁舎それぞれを最低限の費用で改修または新築するのが最善だと考えます。分庁舎方式です。これが誰もが納得する解決策です。</p> <p>土地の取得費用は建築費 40 億円とは別に必要なので予算は膨らむばかりです。駅前土地の買収が必要となれば駅前の民有地の買収が必要となります。さらに駅前案では職員の駐車場の確保は別途検討となっています。これを考慮すると更に広い土地を買収する事が必要で総額はさらに膨らみます。</p> <p>分庁舎方式にすれば土地の取得費用は不要ですので建物本体の費用だけが市民の負担となります。</p> <p>現在の構想では、建物だけの費用を 40 億と見積もっていますが世帯数 1 万世帯で除すと世帯当たり 40 万円となります。駅前案を進めると更に市民の負担が増加する事は明白です。更に昨今の建築費の高騰が追い打ちをかけるでしょう。</p> <p>現庁舎の耐震化改修または、つくばみらい市の庁舎 13 億円を参考に安価な建築方法を検討し、土地取得の必要が無い分庁舎方式を提案します。節約した予算を市民の住みやすい町づくりのために使いましょう。</p>	<p>東日本大震災の発生を受け、耐震基準を満たしていない烏山庁舎及び南那須庁舎の耐震診断を実施した際に、耐震補強等を行った場合の費用を試算しています。両庁舎の耐震補強等に要する費用は、当時約 12 億 8 千万円（消費税率 5%）と試算していますが、消費税率が 10%になるとともに、ここ近年の物価高騰や労務費の上昇等を考慮すると、4 割を超える事業費増となる可能性があります。また、両庁舎とも老朽化によるコンクリートの中性化が進行しているため、耐震補強等を行ったとしても、近い将来には建替え等の対応が必要となります。</p> <p>さらに、本市では、合併以降、暫定的に分庁舎方式を採用していますが、住民サービス面や行政効率面から、多くの弊害が生じています。</p> <p>このようなことから、住民サービスの向上に加え、イニシャルコストやランニングコストを抑制することが可能な本庁舎方式を前提とした新築整備が望ましいとしたものです。なお、庁舎整備に際しては、過剰な投資にならないような検討を進める考えです。</p>
33-9	<p>【本編 22 ページ】</p> <p>7 基本計画の策定に向けて</p> <p>(1) 今後の進め方及び事業スケジュール</p>	<p>一世帯当たり 40 万円、総額 40 億円の巨費を投じての事業であることから、全市民からの意見を吸い上げることが必要です。一つの方法として市民全員からの意見聴取としてアンケート調査を実施するべきだと思います。市民の意見を集計した上で、更なる議論を市議会で行うのが正しいと思います。丁寧な合意形成をお願いしたい。市議会の議論が煮詰まった段階で、市民ひとりひとりに関係する事柄なので最終的には住民投票により決定する事が望ましい。</p>	<p>アンケート調査については、広く市民の声を聞く有効な手法の 1 つではありますが、2 町合併を経て誕生した本市にとって、庁舎整備は非常にデリケートな問題であることから、人によって考え方や意見は様々であり、簡単に 1 つに集約できるようなものではありません。</p> <p>また、そのやり方次第では、誤った方向に誘導することにも繋がりがねないため、慎重な対応が必要と考えます。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
34-1	<p>【全体意見】</p> <p>【本編 8 ページ】</p> <p>3 今後の庁舎方式のあり方</p> <p>①新市建設計画</p>	<p>コメントを述べる前に、合併して20年という時間が過ぎようとしている中で、今回の庁舎整備基本計画をまとめるに当たり、幾多の障害を乗り越え尽力された関係者や市職員の皆様に心から敬意を表します。</p> <p>この19年を振り返ると、社会がいかに大きく変化したか、感慨深いものがありますが、庁舎整備がこれ以上時間を労せず、この度の構想に基づき一日も早い実現をみますことを一市民として強く願っております。</p> <p>まず3. の「今後の庁舎のあり方」のうち、平成17年に議決された新都市構想で、烏山市街地を「都市活動拠点エリア」として行政機能を中心とした都市拠点機能を担うエリアにすることが明記されています。</p> <p>この事に鑑みれば、場所の選定が烏山か南那須かで長い時間、結論がでなかったのは、市政を司る市が17年議決の内容をもっと早く、しっかりと市民に伝える必要があったのではないかと思います。</p> <p>もし、この決議をないがしろにするなら、もう一度新都市構想を策定し直さなければならなかったと思うのですがいかがなものでしょうか？</p>	<p>ご意見のとおり、2町合併時に策定された新市建設計画においては、烏山市街地を行政機能の中核として位置付けています。</p> <p>また、第1次総合計画～第3次総合計画においても、新市建設計画の考え方を踏襲しています。このことについて、市民への周知が不十分であったと反省しております。このたびの庁舎整備検討に当たっては、新市建設計画及び総合計画におけるまちづくりの考え方・両市街地の役割について、庁舎整備ニュースレターや職員出前講座、タウンミーティング等において周知を図っているところであり、引き続き、揺るぎない市の方針として対応していく考えです。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
34-2	<p>【本編 19 ページ】委員からの意見</p> <p>【本編 22 ページ、23 ページ】</p> <p>7 基本計画の策定に向けて</p> <p>(1) 今後の進め方及び事業スケジュール</p>	<p>次に、今回の庁舎整備検討委員会の答申のなかに「庁舎だけでなく、その他の公共施設を含めた「まちづくりのランドデザイン」を描いたうえで合意形成を図るべき、とあります。それに対し、22 pの今後の進め方及び事業スケジュールには、「庁舎整備と関連する各種事業と密な連携を図りながら、市街地再生と交流拠点の整備による相乗効果の高い新たなまちづくりに取り組んで行く」とあります。</p> <p>ここで言わんとすることに関し、答申の趣旨は十分踏まえることは読み取れますが、まだ、具体的取組みは「検討中で公表する段階にない」と考えればいいのでしょうか？</p> <p>23 pの事業計画には「都市計画マスタープラン」と「都市再整備計画等」という言葉がありますが、この中で検討されるのでしょうか。</p> <p>なぜ、このような事を問うのかと言うと、新庁舎を整備することで、私たちの住む那須烏山市はどのように進化していくのかが示されない中で、庁舎整備に対する新たな疑問が提示され、庁舎整備自体が頓挫するか遅延するのではないかと心配をするからです。</p> <p>私は、冒頭で申したように一日も早い庁舎整備を願うものでありますが、ここまで時間をかけた以上、フルセットに近い整備メニューを示すべきで、その他関連するメニューの逐次投入は避けるべきではないかと思うのでありますがいかがなものでしょうか。</p> <p>色々申し上げましたが、是非、多くの市民の皆様が期待を待ち望んでいる烏山駅前の新庁舎整備が那須烏山市の新しいスタートになるに精力的に進めていただきますことを心よりお願い申し上げます。</p>	<p>今回の庁舎整備の検討に当たっては、検討委員会委員や市民から、「庁舎のみを整備するのではなく、老朽化が著しいその他公共施設の再編再整備を併せて考えてほしい」といったご意見が多く寄せられています。こういったご意見を踏まえ、付帯意見として、「まちづくりのランドデザイン（案）」がまとめられました。</p> <p>現在、生涯学習施設の今後のあり方をまとめた個別施設計画の策定を進めるとともに、JR 烏山駅周辺の再生に向けた都市再生整備計画の策定に着手することとしています。こうした計画の策定と併せ、まちづくりのランドデザイン（案）を最大限に尊重した具体的事業計画をまとめ、市民に示していくこととしています。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
35	<p>【その他】</p> <p>【本編 13 ページ】 5 新庁舎の規模 (1) 職員数の想定</p> <p>【本編 13 ページ】 5 新庁舎の規模 (3) 必要延床面積 の想定</p>	<p>・日本はデジタル化で世界ランクトップ 10 にも入れていないが (https://www.waseda.jp/inst/research/news/75731)、国としてはデジタル競争力の向上に力を入れている。</p> <p>・ヨーロッパのデジタル先進国に住む知人によれば、一般市民が市役所に出向くことはほとんどなく、申請は原則として情報機器による。高齢者でもそれができる仕組みがある。</p> <p>その様な国では、データの連携や、従来人が行っていた業務のプログラム化による省人化が図られていると考えられる（そもそも、それが目的ですから）。</p> <p>・新庁舎が稼働するのは早くても6年後なので、当市でもデジタル化は相当進むと見る。むしろ、新庁舎稼働をチャンスタイミングと見てデジタル化を飛躍的に発展させ、市の魅力向上につなげるべきである。</p> <p>その様なデジタル化を、庁舎検討の前提に置くべきである。</p> <p>参考) ソフトウェアの様なテレワークが可能な産業の従事者は今後も増加すると考えられるが、利便性よりも自然の豊かさや歴史文化を感じる地域を居住地として選ぶことが、日常の心の安らぎからしてもあり得る。</p> <p>その場合、行政のデジタル化が他地域より進んでいることは必須条件であって、それが市の魅力向上につながる。</p> <p>・1 庁舎に統合されることや人口減、業務のデジタル化に伴い、組織統合による要員削減や、課の要員削減が図れるはずである。→職員数に反映すべきである。</p> <p>・商工観光課と農政課は統合可能ではないか(まとめて言えば産業ですから)。</p> <p>・市民課は1 拠点化で要員削減ができる。</p> <p>・各種申請のデジタル化やデータの一元化、転用、また手順化された業務のプログラム化で大幅な要員削減が可能。</p> <p>・床面積は、総務省や国交省の基準に基づくだけでなく、職員さんの意思を入れること。</p> <p>・業務のデジタル化で紙資料は大いに減らすべき。→スペースは減る。</p> <p>念のために取っておこうで貯めた資料が役に立つことはほとんどなく、逆に効</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>率的な業務の妨げになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所は市民のためのものであることはもちろんだが、職員さんが働きやすい場でもあるべきで、それが職員さんに良い発想や良い連携をもたらす。 ・また、今後は組織横断型の業務が増えるはず。 <p>そういったことを考慮し、どんな道具を使いたい、レイアウトをどうしたいかと考え、床面積を試算していただきたい。</p> <p>例) オープンスペースにテーブルとモニターが置いてあり、ノート PC を持って行けば業務も会議もできる、そんな業務エリア等</p> <p>職員さんが気持ちよく食事できる、課外の方とお茶を飲んで話しながら休憩できるスペース、等。</p>	
36-1	【本編 23 ページ】 事業スケジュール	<p>庁舎建設の工事期間 2 年は短い。</p> <p>年度当初の 4 月から着工できるのであれば間に合う可能性もあるが、大きな震災が続いている昨今、災害時の B C P 対応のインフラ整備や「多世代が活発に活動することができる交流拠点」である一方で災害対策本部としての機能を持つ庁舎は、免振・耐震などの地震に強い性能を備えるべき建物であり、突貫工事を行うべきものではない。</p> <p>仮に、庁舎の建物が完成したとしても、備品搬入や窓口対応のシミュレーション等の建物完成後の様々な調整が入ることを考慮すると 2 年は短く、実際の使用開始時期（オープン）は慎重に検討すべきである。</p>	<p>本編 23 ページの「事業スケジュール」については、現時点で想定されるおおよそのスケジュールを示したものとなります。今後のスケジュールについては、用地測量や不動産鑑定など、各種取組の進捗状況を踏まえながら、随時見直しを図ることにしています。</p>
36-2	【本編 24 ページ】 (2) 事業手法 ① 代表的な事業手法の整理	<p>「P F I 方式」を選択肢として記載することに疑問あり。</p> <p>「P F I 方式」は運営する事業や業務があって成立するものであり、庁舎のメンテナンスのみを民間事業者に委託するだけでは成立しない。例えば、栃木県総合運動公園の日環アリーナのように P F I コンソーシアム担当会社がイベントの企画や貸館業務等を行い、運営利益をあげることが可能であれば B T O 方式が成立するが、基本構想に併設施設の記載はない。むしろ、併設予定の機能があるのであれば明示する必要がある。もし、体育館等の用途を有する複合施設を視野に入れているのであれば、併設する用途によって事業費の上昇率は異なるので見直しが必要になる。単に、㎡単価に面積を乗じて算出すれば良いものではない。</p>	<p>本編 24 ページの「① 代表的な事業手法の整理」では、情報の整理として、公共施設整備で用いられる代表的な事業手法を 3 つ挙げたものとなります。本編 25 ページの「③ 適用可能な事業手法」に記載のとおり、本市で採用する具体的な事業手法については、各事業手法のメリット・デメリット等を踏まえ、基本計画の策定をすすめる中で慎重に検討して参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
36-3	<p>【本編 24 ページ】</p> <p>(2) 事業手法</p> <p>② 事業手法のメリット、デメリット</p>	<p>「従来方式」のデメリットに「大きく変更する場合は設計変更になり確認申請に影響する」と記載があるが、「DB方式」、「PFI方式」の手法で計画が進んだとしても、建築基準法において「計画変更」に該当する変更が生じた場合は手続きが必要であり、同じ条件なのでデメリットにはならない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、本編 24 ページの「② 事業手法のメリット、デメリット」のうち、「従来方式」のデメリットについて、「実施設計終了後の施工会社からの提案（VE等）は限られる」との内容に修正いたします。</p>
36-4	<p>【本編 24 ページ】</p> <p>(2) 事業手法</p> <p>② 事業手法のメリット、デメリット</p>	<p>「PFI方式」のデメリットに「事業者側の作業、事前コストの負担が大きい」と記載があるが、発注者側の費用負担について記載がない。「PFI方式」を導入する場合、アドバイザーとして外部コンサルタント会社へ業務委託を発注することが多いが、事業者選定から建物の引き渡しまでの期間は委託料を払い続けなければならない、事業費全体が高額になる可能性があるため、デメリットになると思われる。</p>	<p>事業手法に関して、一般的には、PFI方式を採用することによる費用削減効果（VFM）が見込めない場合には、そもそもPFI方式を採用することは考えにくい、デメリットにはならないものと考えます。</p>
37	<p>【全体意見】</p>	<p>今回の庁舎整備には、庁舎を新たに整備するだけでなく、市街地再生を図る意味合いも含まれているものと感じます。</p> <p>本市の人口減少率は非常に高く、つい5～6年前までは、野木町や那須町よりも多かったはずなのに、この5～6年で野木町や那須町を下回りました。</p> <p>既存の南那須市街地、烏山市街地をこれからも生かし、コンパクトながらも文化的で安心して暮らせるまちづくりをしていくことが合理的であると考えます。</p> <p>いまだに神長地区がいいのではとの声もありますが、仮にそんな方向になったら、既存の南那須市街地、烏山市街地はどうなっていくのでしょうか。それこそまちづくりが混沌し、非合理的としか言いようがありません。</p> <p>本構想の内容に賛同します。</p> <p>また、現在の各庁舎は、著しく老朽化しているとのこと。おそらくは修繕もつぎはぎ式に行われ、維持管理に相当な費用がかかっているのではと考えます。</p> <p>今度の無用な財政出動を避けるためにも一刻も早く実現できることを望みます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
38	<p>【特に配慮が必要であると要望があった事項に関する付帯意見】</p> <p>【まちづくりのランドデザイン】</p> <p>【その他】</p>	<p>・建物は、「ハコモノ」「平屋（低層）」が安価で耐震性が高いので、吹抜け・ガラス張り（カーテンウォール）・連絡通路・外部や陽の当たる側への木材の使用をやめるべき。（新市庁舎は設計屋のコンクールではない。全国の自治体が我らが一番みたいな立派過ぎる庁舎を建てているが、本来は学校の校舎のような建物で十分かと。）</p> <p>・図書館・子育て施設・市民ホールは賛成。ここに、管轄部署は異なるが（商工観光課？）山あげ会館の移設 or 雨天でも山を上げられ、そこで観覧できる山あげ祭会場（通称・なすからガーデン）の設置は如何でしょうか？</p> <p>・駅前に飲食店・観光案内所がない（烏山駅で降り立つ目線で）。コンビニや大手チェーン店では、地元にお金が落ちない。</p> <p>・旧・烏山駅舎や旧・境小学校校舎など、古き良き遺産を生かさない（生かさない）のは何故か？</p> <p>昭和レトロブームに乗っかるべきだ。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
39	<p>【全体意見】</p>	<p>庁舎整備検討委員会の皆様の出した答申に賛成です。</p> <p>コンパクトシティ大賛成。</p> <p>駅前以外に建設の意味がわからない。</p> <p>あの雑草だらけの駅前をきれいに整備してほしい。</p> <p>アキュムに乗って烏山に到着しても何も無い。</p> <p>雑草と太陽光があるだけ。</p> <p>観光協会や、お土産屋を併設した市役所が良い。</p> <p>那須烏山市は20年遅れている。</p> <p>消防署は、南那須と烏山の中間で良いと思うが、市役所は中間でなくてもよいのでは？</p> <p>年に何回、市役所に行く用事があるのだろう。</p> <p>いざ！という時に行きやすい、交通の便が良い駅前に賛成です。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
40	【全体意見】	<p>県内1 老朽化が激しい市役所、那須烏山市 豪華な庁舎は必要ないと思いますが、耐震がされている安全な市役所を。 駅前に市役所だけでなく、複合施設も併設していただきたい。 黒磯みたく駅前に図書館があると学生も利用できると思います。 烏山線が存続の危機と聞きますが、それは何年後の話でしょうか？ 「廃線になるかもしれない駅前に市役所は建てるべきではない」と言っている議員がいるようですが、廃線にならないようにするのも、市役所や議員の仕事だと思います。 がんばってください。 神長地区に市役所を建設すべき！とっている議員がいるようですが、なぜ神長なの理解できません。 南那須地域には、市役所の出先機関をつくれればいいとおもいます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます。今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。 なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>
41	【全体意見】	<p>那須烏山市の市役所は駅前をお願いします。 なぜ駅前か！という長い時間をかけ、庁舎整備検討委員会の方々が「駅前」と答申を出したからです。 合併時に「烏山地区へ建設」という議会の承認は得たと聞いています。 神長も旧烏山ですが、交通の便が悪い。 なにも南那須と烏山の間に作る意味がない。 スピード感を持ってすすめていただかないと、那須烏山市だけが栃木県から置いていかれるような気がします。 一部の議員は、駅前建設を反対しているようですが、なぜ反対なのか意味が分かりません。そして神長にしたい訳はなんですか？ 議員連名アンケートがきました、書く気にもなれません。 最初に40億の金額を見せられたら「高い！」⇒「不要」と誘導している感じがします。 那須塩原市は、人口規模が違いますが、市役所建設135億です。 庁舎建設が遅れば遅れるほど、建築費は高騰します。 早急に決断をいただきたいとおもいます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます。今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。 なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
42	【全体意見】	<p>新庁舎駅前建設に賛成です。 物価高騰の中、早急に決断をしないとどんどん資材が高騰し建設ができなくなってしまう。 なぜ、合併して20年もたってしまったのか。 その時の取り決めごと（旧烏山町内に建設）は、今の議員は知らないのでしょうか。 だったらもっと勉強するべきです。 反対議員がいることに驚いています。 反対が市を衰退させていることにきがついていただきたい。 公園も同じです。 市民の憩いの場を、子供の安全な遊び場にしていきたい。 議員は、子供や孫をせせらぎ公園で遊ばせた事がないのでしょうか。 そして、駅前にコンビニを！ 駅前に新庁舎を建設するにあたり、昭和20年頃に決めた都市計画道路も見直すべきだとおもいます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。 なお、市議会に対するご意見については、議会事務局を通じて共有をさせていただきます。</p>
43	【全体意見】	<p>駅前に役場をつくってほしいです。 デマンドでも行けて、バスでも行けるようにしてほしい 役場の中に社会ふくし協ぎ会も入れて下さい ヘルパーさんが役場にいてくれると安心です。 歌が歌えておどれる場所も市で作って下さい。 あじあいホールまで行くのが大変です 役場だけでなく、図書かんやホールもほしいです。 役場が駅前がいいです</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後も着実かつ丁寧に検討を進めて参ります。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
44	<p>【本編 21 ページ】 6 新庁舎の候補地</p> <p>【市の方針】</p> <p>【本編 12 ページ】 4 4 庁舎の利活用のあり方</p> <p>【市の方針】</p>	<p>J R 烏山駅周辺に賛成です。</p> <p>庁舎内はもちろんですが、駐車場もコミュニティスペース、イベントスペースとして観光と連携した色々な活用が見込めると思います。</p> <p>水道庁舎を今後も存続させた上で、庁舎規模をよりコンパクトにする考えもよいと思いますが、水道庁舎の職員数は 1 1 人です。</p> <p>候補地が J R 烏山駅周辺となり、今後、どの程度の土地を確保できるのかにもよりますが、ある程度の規模を確保できるのであれば、水道庁舎の職員も新庁舎に集約することを考えてもよいのではないのでしょうか。</p>	<p>水道庁舎は、本市の基幹的な水道施設である城東浄水場に隣接しており、毎日の点検等の作業が容易であるほか、緊急時の対応も早急に行うことが可能となっています。水道庁舎を新庁舎に集約することで、水道施設への距離が遠くなり、緊急時の対応が遅れるなど、水の安定供給に問題が生じる可能性があります。また、上下水道課職員の執務スペースに加え、水道メーターや補修資材等を保管するスペースや、緊急出動用の工務専用車の駐車スペース等も必要となります。このような事情を考慮し、現在の水道庁舎を今後も存続させる方針としたものです。</p> <p>いただいたご意見は今後の検討の参考とさせていただきます。</p>